

ひだご坊真宗教化センターだより

2021年8月号

発行日:2021(令和3)年7月30日 第13号 発行者:飛騨御坊真宗教化センター長・高山別院輪番 三島多聞

高山市鉄砲町6 Tel 0577-32-0776 web <http://hidagobo.jp> ✉ takayama@higashihonganji.or.jp

飛騨御坊の活性化 —「寺づくり・街づくり」を考える—

- 理念** ※ 十文字教化体制の稼働 …自信教人信
※ ご坊別院及び各寺院の「同朋型寺院」を志向する…開放された寺院
※ 飛騨地域における「同朋社会の実現」…地域の真宗文化の興隆

NO.1 センター、別院仏事及び所属団体による、門徒及び一般市民に開かれた教化

TV利用(内容は多岐に亘る)、暁天講座、各種公開講座、法語揭示、等々

(詳細は略す)

NO.2 別院施設の活用

〔A〕 寺宝館の活用

別院側の活用

- 1、中村久子展
- 2、報恩講及び彼岸会に
本山より教化パネル借用の展示
- 3、3年を目安に研究課題発表展示
- 4、真宗史学会による展示、その他

一般市民側の活用

- 1、趣味展示(各種コレクション展示、
絵ハガキ、昆虫展等)
- 2、書道展、写真展、人物展、歴史展、等
- 3、美術、工芸、展示
(例、彫刻、絵画、版画)、等、その他

〔B〕 庫裏ホールの活用

- 1、音楽、芸能、落語、講演、
各種シンポジウム、研修、会議、等々

- 2、劇(独芝居、演劇、人形劇、等)

- 3、各寺の公開同朋大会
- 4、「お茶所」の如き、コーヒー、軽食
- 5、食堂、弁当利用
- 6、宿泊利用
- 7、映画クラブ結成と上映、その他

〔C〕 御殿の活用

- 1、茶会
- 2、お見合い
- 3、着物展
- 4、座敷にふさわしい催事

〔D〕 御坊会館の活用

- 1、法話(布教大会等)
- 2、諸会議・諸学習会・稽古ごと
- 3、講義、研究発表
- 4、報恩講等、法座控等、その他

〔E〕 別院境内の活用

- 1、観光バス駐車場
- 2、ご坊夏祭り
- 3、児童の広場(屋内も含む)
- 4、ご坊市(フリーマーケット)
- 5、彼岸おはぎ
※ 「お茶所」が欲しい。

〔F〕 観光及び団参の一助

- 1、観光客と仏縁を結ぶ
- 2、別院所有の自販機の活用
- 3、「御廟」を中心とした団参計画
- 4、中村久子展への誘導
- 5、中村久子パネルの貸出し
- 6、朱印帳及び百仏法語等の
教化グッズの販売

- 1 1、別院施設紹介と利用のパンフ作成
- 1 2、その他

NO.4 「寺づくり・街づくり」を考える会

飛騨には各種の団体・同好会等、興味のある活動がある。当方より積極的に交流を求めていく姿勢によって、寺づくり(飛騨御坊の活性化)と街づくり(寺町づくり)に活路を見出すことができる。「寺づくり・街づくりを考える会」の結成を願う。

- 1、会員は12~3名(年齢30代~50代の方)
- 2、各会、各職業の人で構成する
- 3、当て職の人は選ばない
- 4、興味を持った人を選ぶ

別院会館の2階から本堂を見ていると、境内を通る人の70%は必ず合掌する。その姿を通し、市民の深層心理にご坊さまへの恭敬心が宿っていることを知る。この地下水の如き清き流れを絶やしてはならない。

みんなが出会う広場として、別院そして各寺院が開かれることを願う。

“寺づくり・街づくり”をシュミレーションしてみた。

高山別院輪番 三島多聞



NO.3 各団体・各界との交流による響動・協働・共働

- 1、市仏教会との交流
- 2、葬儀社との交流…新しい葬儀のありかた
- 3、安川商店街をはじめとする、各業界との交流と協力関係の構築
- 4、別院を結婚式場に(仏式結婚式の勧め)企画
- 5、高山市と防災協力提携、ボランティア活動
- 6、佐奈姫墓地管理の松本町長寿会との交流
- 7、町内子ども会、保育園、幼稚園との交流
- 8、施設訪問
- 9、慈光会、山ゆり学園との交流
- 10、寺宝館等施設利用の各団体・各会との
催事を通しての長い交流と共働

★センター・別院からのお知らせ★

※行事は、コロナ感染症の状況により中止や変更になる場合があります。

「女人往生の願」はなぜあるのか—教化研究所課題別講義

6月10日教化研究所課題別講義が開催された。今回は、コロナウイルス感染症の影響を考慮し、講師・参加者ともにオンラインを使用し、一部別院会館にお越しの方も含めて23名が受講した。

当日は、テーマ『「女人往生の願」はなぜあるのか—教えと差別の現実に向き合う—』のもと、宗派から発行された『女性史に学ぶ学習資料集』と女性室広報誌『あいあう』をもとに、金沢教区常讃寺副住職・元本山女性室スタッフの藤場芳子先生よりご講義いただいた。先生には、『ひだご坊』紙に連載いただき真宗公開講座にもご出講いただいております。高山では大変馴染み深い方である。「五障三従」や「変成男子」などの聖教に見る性差別の課題や宗門における女性の位置づけの問題について丁寧にご講義いただいた。

受講者からの「差別の意図がなくても差別は成立する。むしろ無意識であることが多い」という点についての質問に、誰もが偏見を身につけているものであるが、差別は性別によって不利益を蒙ることであるとご教示いただいた。

高山別院院議会の開催 ご坊センター会計予算も可決

7月8日、新年度を迎え高山別院院議会が開催された。別院会計については、教区が改編され飛騨御坊真宗教化センターが設置稼働したことにより、センターと別院の事業の連動を図るため、会計年度始めを4月1日から7月1日に変更され、初めての院議会となった。

これにより、審議内容について、センター会計の予算についても新たに審議されることとなり、院議会が果たしていくべき使命がさらに大きなものとなった。

当日は、提出された議案の全てが全会一致で可決された。

「ひだご坊 web」(ホームページ)リニューアル



このたび、ホームページ「ひだご坊 web」がリニューアルされた。教区改編による内容修正の必要性に加え、飛騨御坊真宗教化センターが立ち上がったことでさらに内容充実がはかられた。今後Instagramとともに、センター別院の広報を展開していく。

HP アドレス : <https://hidagobo.jp/>

＜死と再生＞

■いのちの記憶

「いのちの願い」には、いのちの記憶というものがあ。事故や事件（例えばいじめ）で子を亡くした親たちの悲しみの深さは、決して消えるものではなく、亡き子の「いのちの願い」は、親たちの「いのちの願い」となって相続されていく。あるお寺の寺報に次の記事が載っていた。

33歳くらいの女性が死に際に、両親に「私がこの家に生まれたことを忘れないでほしい」と。親たちの「忘れるものか！」の声を聞いて、その女性は静かに息をひきとった。

思うにその女性は、両親の心に再生したことを知って、穏やかに死ぬことができたのでしょう。

ある教諭師の話で、まさに死刑が執行される時、暴れる囚人と、そうでない囚人がいるという。家族のいる囚人は暴れず、身内のいない囚人は「死にたくない！」と暴れるとのこと。家族身内がいれば未練があつて暴れ、身内がいなければ未練なく暴れないと考えるが、実は逆だという。その理由は、家族という身元引受人がいるのといないのとの違いだという。引き受けてもらえるという「再生」の有無によるのだろう。引き受け手が無ければ、死ぬに死ねんということだろう。

■念仏の再生

真宗門徒はどのように「いのちの願い、すなわち「死と再生」を成就し相続してきたのか。『仏説無量寿経』に、「欲生我国…我が国に生まれんと欲え」と、み仏に呼びかけられていることに応えて、「願生彼国…彼の国（弥陀の浄土）に生まれんと願ずる」という応答が説かれている。

「欲生我国」を別言すれば、み仏の「いのちの願い」である「阿弥陀仏」であり、「願生彼国」を別言すれば、私たちの「いのちの願い」である「南無」。南無阿弥陀仏、とは「死と再生」、すなわち、み仏と私の「いのちの願い」の総体。「南無阿弥陀仏、とは、我がいのちの身元引受人である。

私たちは今までたくさんの葬式に会ってきたが、その中身は「死と再生」の「いのち」の営みである。毎年のお盆も年忌法要も、「いのちの再生」に他ならない。

■帰敬式—法名をいただくことは門徒としての誕生

帰敬式を受け「法名」をいただく。「名」を名告るとは、新しく誕生（再生）したという証明。帰敬式とは、仏名である「法名」をいただき、門徒として誕生すること。この世において、自身の「死と再生」を先取りし、この世をうろたえず充実して生きる身となる門出が帰敬式。山頭火の詩を思い出す。

しゃべるな／おこるな／むさぼるな
しっかりあるけ／ゆっくりあるけ

■念仏相続—葬式は帰敬式が宣伝させる場

我が「死と再生」を「南無阿弥陀仏」に先取りし、この世の矛盾や不安や悲しみや、怒りや喜びや楽しみを、その都度、「南無阿弥陀仏」の一声の中に預け、消化して生きる。また、念仏一声に先祖の「いのちの願い」を偲び、未だ見ざる子孫の「いのちの願い」を祈り、また、今の家族の「いのちの願い」に幸あれと自然に思わせてもらう。念仏相続こそ永遠の「いのちの願い」の相続である。

「いのちの願い」とは別な言葉でいえば「死と再生」。これは私たちの生活の中で繰り返してきている。帰敬式というのはその最たるもの。生きていく間に「死と再生」を成就する。葬式は仏事であり、帰敬式が宣伝される場である。そのことを意識してもらうことが大切。

仏陀釈尊成道後、5人の比丘（仏弟子）が誕生した。阿羅漢となった。そこに法眼が開かれた。それは三帰戒を授かる、つまり帰敬式の心が発起した。これが仏教徒の始まり。したがって、これは自主的であればいけない。発起するのだから。「寺参れよ、寺参れよ」と催促されて参るのも大事だが、帰敬式には発起して寺へ来るということの意味がある。仏教徒になる。剃刀を受ける。その時はじめて、真宗の寺に来たという意味が明らかとなる。

『高山市民時報』ミニ法話『響』連載中

8月の寄稿者

- 三島 多聞氏（高山別院輪番）
- 四衛 亮氏（高山一組 不遠寺住職）
- 佐藤 義晃氏（清見組 了徳寺住職）
- 内記 洸氏（高山二組 往還寺副住職）
- 江馬 雅臣氏（益田組 賢誓寺副住職）

web ひだご坊でも「一口法話」配信中！

<https://hidagobo.jp/>

※印刷したものの郵送をご希望の方は、教務支所までご一報ください。

高山別院報恩講 帰敬式受式者募集について

今年の11月1日から3日にかけて勤修される高山別院報恩講において、下記のとおり帰敬式を執行いたします。

各ご寺院には、8月上旬に募集要項及び案内チラシを学場中に配布（又は送付）いたしますので、受式奨励くださいますようお願い申し上げます。

日 時:2021年11月3日(水祝) 午前10時～正午
会 場:高山別院本堂 冥加金:13,000円
事前学習:10月19日(火) ①13時～ ②19時～

※詳細は、8月上旬配布の要項をご確認ください。



飛騨御坊での帰敬式（おかみそり）

飛騨御坊真宗教化センター・高山別院 2021年8月行事予定

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院	会 場
1	日	6:30	別飛騨学場・暁天講座	本堂
2	月	6:30	別飛騨学場・暁天講座	本堂
		15:00 19:00	教 岐阜高山選挙区選挙管理会 組 二組教化委員会	岐阜高山教務所 研修室
3	火	6:30	別飛騨学場・暁天講座	本堂
		7:00	別半日華	
4	水	6:30	別飛騨学場・暁天講座	本堂
5	木	9:00	別飛騨学場	本堂
6	金			
7	土			
8	日			
9	月			
10	火			
11	水	13:00	別 大谷婦人会定例 法話：輪番	御坊会館
12	木			
13	金	7:00	別前住上人ご命日	本堂
		7:00	別一日華	
14	土			
15	日			
16	月			
17	火			
18	水	19:00	宗議会報告会	研修室

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院	会 場
19	木	13:30 14:00	広報部会 伝道部会	高山教務支所
20	金			
21	土			
22	日			
23	月	17:30	教 荘白川組所長巡回	
24	火			
25	水			
26	木	7:00	別半日華	御坊会館 本堂
		13:00 15:00	組 高山一組門徒会研修会 教 高山一組、二組所長巡回（門徒会合同）	
27	金	13:00	別 親鸞聖人お逮夜	本堂
28	土	13:00	別親鸞聖人御命日 法話：達 顕信氏（高山教務支所主事補）	本堂
29	日			
30	月			
31	火			

9月 ※15日ごろまでの掲載とし、定例行事は省きます。

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院	日	曜	時間	ご坊センター・高山別院
6	月	14:00	益田組巡回（門徒会合同）	12	日	13:15	清見組巡回（門徒会合同）
9	木	13:30	企画会議	14	火	14:00	慶讃広報部会
11	土	14:00	朝日高根組門徒会研修				
		16:00	朝日高根組所長巡回				